

健康づくり協力員の皆さんに聞きました！



たかまつ あずさ
高松 梓さん
(西林東)
活動歴：8年

他の自治区と違って人の出入りが多いので、人を覚えるのが大変でした。新たに引っ越してきた方には、配付の時にあいさつをしたり、「町では全戸に健診の意向調査をしています」というようにメモをつけて渡したりしています。長くやっている相手も覚えてくれ、最近では、健康増進課のものでないアンケートも、私のところに持って来る方や質問をされる方もいます。私の部屋まで階段を昇らなくてもいいように、回収箱を設置して、回収率アップの工夫もしています。団地の皆さんに自分の顔を覚えてもらえて、他の仕事を引き受けた時も全く困りませんでした。

高齢者にはお茶飲みしながら書類を書いていってと頼まれるので、説明しながら手伝ってくることもあります。健診の受診を勧めると「病院でやっているから受けないよ」と言われますが、大腸がん検診も自分が行かずに検体を持っていただけだからと、気軽に受けられることを話して勧めています。



おぐら さか子さん
(弥平四郎)
活動歴：12年

健康づくり協力員になり、鎌田先生の体操やラジオ体操などの運動が気になるようになりました。ケーブルテレビのラジオ体操も弥平四郎に来ないかなあと考えています。

健康づくり協力員の活動にご理解とご協力を

健康づくり協力員は、自治区の皆さんの生活状況に合わせて受診録などの配付を行うなど、さまざまな工夫をしながら活動し、町民の皆さんの健康づくりを推進しています。活動内容をご理解の上、期日まで書類を提出するなど、ご協力をお願いします。

住民の人数が多い地区なので、2人体制で相談しながら協力できて良いと思います。日中に仕事をしているため、配付や回収の時間が取りにくいとは感じますが、重荷にはならない程度です。

今後は研修会で乳がん検診や子宮がん検診など、検診の大切さを学んで、地域の皆さんに分かりやすく受診を勧めたいと思います。



ほんま ちか子
本間 千加子さん
(10町内)
活動歴：4年



ふじわら のぶ子
藤原 信子さん
(屋敷)
活動歴：2年

介護していた母が亡くなり、自治区内で自分にもできることがあれば引き受けました。受診録などを1軒1軒に手渡しすることで、一人一人と話ができて良かったと思っています。

健康づくり協力員の会議に参加することで知り合いも増えました。会議では説明だけでなく、参加者同士が交流する時間もあれば、仲間もできるのではないかと考えています。

手ラシを見ただけでは高齢者には伝わりにくいので、会議での説明を頭に入れておかないといけないなと思いつながりながら活動しています。

初めは、地域の皆さんの在宅時間が分からず何度か訪問していましたが、今では在宅時間も覚え、自分のやりやすいように活動できています。

研修会に出ることで町役場のイベントや教室にも詳しくなり、今では研修会が楽しみのひとつです。



うえの よいえ
上野 好恵さん
(井谷)
活動歴：10年

名称も新たに

健康づくり協力員の活動がスタート！

令和3年4月より、町の健康づくり事業へ協力していただいている保健指導員が、「健康づくり協力員」へと名称を変更しました。保健指導員制度は昭和39年に創設され、今年で57年目を迎えるようとしている歴史ある制度です。

当時は、伝染病の予防や妊婦および乳幼児の保健指導などを、町の専門職とともに行っていました。しかし、時代とともにその内容も変化してきたことから、活動内容を適切にイメージでき、また町が推進する健康づくりに町民の皆さんと共に、よりいっそう取り組んでいきたいという思いから、「健康づくり協力員」と名称を変更しました。



健(検)診への働きかけと申し込みの取りまとめ

年3～4回開催される会議・研修会へ参加し、町の健康づくり事業の理解を深めます。自治区の皆さんに早期発見の重要性を広く伝え、受診するよう働きかけ、健康づくりに関する事業の申し込みの取りまとめなどを行います。

健康に関する相談を希望する人の把握と保健師への連絡

自治区内で、健康相談などを希望する人がいる場合、地区担当の保健師に連絡します。また健(検)診に関する変更や相談などを取り次ぎます。

健康に関する教室開催への協力

地域で健康教室などを開催する時に目的をお知らせし、多くの皆さんが参加するよう勧誘します。

各種健康診査、がん検診の実施時の協力

健(検)診を受診する人へ受診録などを配付し、円滑に受けられるように協力します。

町民の健康づくりに欠かせない役割を担う健康づくり協力員は、自治区の皆さんが安心して健(検)診を受けるため、きめ細やかな対応を行っています。次のように、町の健康づくりを推進するために大切な役割を担っています。

からだ・こころ・つながりの健康づくりができる活動

町では、「からだ」「こころ」「つながり」の3つの健康による「さすけねえわ(輪)」の健康づくりを推進しています。昨年度、協力員を対象に実施したアンケートでは、「つながり」の健康に関する回答が多く見受けられました。協力員の活動は、町民の健康づくりだけでなく、自分自身の健康づくりにもつながっていると云えます。

◆アンケートより

- 自分自身や周りの人の健康について関心を持つようになった。
- 健(検)診の流れや仕組みへの理解が深まった。
- 健診票の配付時など、自治区の人とのコミュニケーションが増えた。
- さまざまな世代の人と話す機会が増えた。
- 高齢者宅への配付時に元気な顔が見れ、安否確認ができて良い。